

令和3年度の財政状況をお知らせします

財政課 ☎ 829-1126

※令和4年3月31日時点の金額です。最終的な金額（決算額）ではありません。

一般会計

福祉サービス、道路や公園の建設、環境衛生など、市が行う仕事の中心となる部分の会計です。市税などが主な財源になっています。

予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
2,882億400万円	2,249億9,600万円	78.1%	2,261億7,800万円	78.5%

特別会計

国民健康保険や介護保険事業、駐車場事業など特定の収入（保険料や使用料など）で、その事業の支出を賄う会計です。

予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
1,161億5,400万円	982億3,800万円	84.6%	1,024億8,700万円	88.2%

企業会計

その事業の収益（使用料など）で支出を賄ない、経営を行う独立採算制の会計です。

収益的収入と支出 企業の経営活動により発生する収益と、それに対応する費用

資本的収入と支出 企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良費や企業債償還金などの支出と、その財源となる収入

水道事業会計	区分		予算額	執行額
	収益的	収入	112億9,400万円	113億1,900万円
		支出	100億6,300万円	96億8,800万円
	資本的	収入	11億円	7億1,600万円
支出		78億5,700万円	61億300万円	

下水道事業会計	区分		予算額	執行額
	収益的	収入	129億2,100万円	128億7,600万円
		支出	117億5,800万円	114億500万円
	資本的	収入	86億5,700万円	66億9,400万円
支出		135億9,900万円	117億600万円	

(市債の状況)

市債

市債とは、長期間使う学校や道路などの建設や、災害復旧工事などを行うための借金のことです。市債を財源として事業をすることで、将来の住民にも負担してもらうことができ、世代間で公平な負担ができます。

区分	令和3年度末市債残高見込み
一般会計	2,821億3,800万円
特別会計	144億3,900万円
企業会計	734億4,600万円
合計	3,700億2,300万円

その他の財政状況

市の財産

学校の土地や建物、公園の土地や遊具などの財産があります。

合計
6,943億400万円

市民の税負担

令和4年3月31日時点の長崎市人口・世帯数で算出しています。

市民の税負担（予算額）	
126,453円/人	248,552円/世帯

一時借入金の状況

一会計年度内において、収入と支出の一時的な不均衡による支払資金の不足を補うための一時的な借入金です。（全会計合計）。

全会計の合計
8億3,100万円

今後の財政運営

新型コロナウイルスの感染症対策をはじめとした歳出面の増加や市税などの減収に加え、人口減少に伴う地方交付税の減少などにより、引き続き厳しい財政運営が見込まれますが、国の財政支援措置や財政調整基金等を活用するとともに、新たな自主財源の確保や業務の効率化など戦略的な収支改善に取り組み、将来にわたり持続可能な財政運営を行っていきます。